

大場 正昭 議員

定住人口増加施策の

取り組みは

問 本市の「住みよさランキング」全国第28位、県内第1位をどうとらえているか。

答 人口当たりの都市公園面積や、世帯当たりの新設住宅着工戸数などの指標が評価されたと考えている。一方、住居水準充実度や、人口当たりの病院・診療所数、医師数などが低い順位となっており、克服すべき課題である。

問 テレビやラジオ番組放送、記事掲載など、メディアを通じて「ふくろい」の魅力をPRすることを提案する。

答 本市では、テレビやラジオ、新聞などの報道機関には、各種イベント情報をはじめ、旬な情報を毎日提供している。今後も、専門家の意見を聞きながら、戦略をもって活用していきたい。



効果的な事業展開が望まれる袋井市の農業

本市の農業を 活性化させるためには

問 本市は、全国でも有数の農業を営む地域資源や環境、人材が整っている。より効果的な事業展開を図る考えは。

答 異業種間交流による農商工連携や6次産業化など、新たな産業創出にも取り組んでいきたい。新東名開通、スマートインター設置なども、絶好の機会としてとらえていきたい。

芝田 禮二 議員

小笠山山麓を

防災拠点化してはどうか

問 工業用地開発とあわせて、小笠山山麓を本市の防災拠点として、多目的利用を図るべきと考ええるか。

答 本地域は海岸から離れており、また丘陵地であることから、防災拠点としては良い場所であると考えている。今後示される国の防災計画や県の第4次地震被害想定を踏まえ、研究していきたい。

問 小笠山山麓を避難防災拠点とし、浅羽南部地域とを結ぶ避難丸道路を整備してはどうか。

答 南北を結ぶ避難道路の整備等を含め、一刻も早く避難が可能となる方法については、津波シミュレーションの結果や、今後発表される県の第4次地震被害想定における津波浸水区域の結果等を踏まえ、検討していきたい。

市内企業の動向を

把握しているか

問 東日本大震災以降、市長による市内企業の訪問等を行ったか。またその結果は。

答 津波被害が懸念される市南部地区を中心に訪問した。避難施設整備への補助制度創設などの意見を伺い、9月補正で反映した。今後も積極的に訪問し、市内で安心して活動できるよう対応したい。



津波対策が検討される浅羽海岸